

# 大宮支店を開設 総合物流拠点に

## 第一貨物、集配効率化

第一貨物（山形市、武藤幸規社長）は3日、大宮支店（さいたま市）を開設した。岩槻支店（同市）と足立支店（東京・足立区）を統廃合した総合物流拠点。東北自動車道岩槻インターチェンジ近くに立地し、高

速交通網を生かしながら集配の効率化と物流サービスの充実を図っていく。

大宮支店は鉄骨4階建てで、延べ床面積は約3万平方メートル。旧2支店を合わせた規模の約10倍で、事務所と荷さばき場、一時保管施設を設けた。土地と建物は賃借。集配車は2〜10ト合わせて63台を配置した。

東京近郊への大規模支店開設は、東北や東名、関越

などの各高速道と接続する首都圏中央連絡自動車道の全線開通（2014年）を見据えた取り組み。ネットワーク網の充実と輸送サービスの向上につなげていく狙いだ。

また大宮支店の開設に合わせ、近隣にある埼玉県内の八潮、栗橋の両支店、都内の板橋、東京の両支店の集配エリアを見直し、物流の効率化を図った。